

男鹿海洋高 3種目1位

全日本スポーツダイビング



全日本スポーツダイビング室内選手権大会で入賞ラッシュを果たした男鹿海洋高校マリンスポーツ部のメンバー

男鹿海洋高校（男鹿市船川港）のマリンスポーツ部が、今月都内で開催された「第27回全日本スポーツダイビング室内選手権大会」の3種目で1位を獲得した。ほか2種目でも入賞し、部員たちは「来年の大会でも好成績を収めたい」と意気込んでいる。

大会は一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会の主催。12月14日に東京都江東区の東京アクアティクスセンターで開かれ、小生からシニアまでの幅広い世代が参加した。

男鹿海洋からは金野碧海さん、金井孝太さん、小柳慶太楼さん（以上男子）、水澤昂汰さん、小玉玲蘭さん、松本ナナさん（以上女子）の計6人がエントリーした。いずれもシノーケルとマスク、フリスパー競技に挑戦した。女子50分で頂点に立ち、文部科

部員同士で技術高める

学大臣賞を受賞した小玉さんは29秒79でゴール。出場48人（高校生17人）のうち唯一30秒を切った。中学まで陸上やバスケットボールなどを経験し脚力には自信があるという。「スターがうまかった。表彰台からの眺めが最高だった」と笑顔で振り返った。

男子100分の小柳さんは1分0秒76で、出場44人（高校生が6人）の頂点に立った。「後半に体力を残しつつ、がむしゃらに泳いだ。フィンの位置をうまく調整しながらできた。本当にうれしかった」と語った。

男女混合の400メートルは、2位に20秒以上の差をつけて優勝した。小玉さん、金井さん、金野さん、小柳さんとなついで4分12秒78でフィニッシュ。小玉さんは男性選手との勝負だったが、粘り強さを発揮し2位でリレー。その後には逆転し逃げ切った。

主将の金野さんは「みんなターンのスピードに乗れていたと思う。優勝の喜びを全員で分かち合えてよかった」と話した。

このほか、男子400分で金野さんが2位、同1000分で金井さんが4位、同500分で水澤さんが6位に入賞した。

顧問の鈴木航教諭は「部員同士で技術的な指摘ができることが男鹿海洋の強み。これからも、互いに指摘し合って自己ベストを更新し続けてほしい」と期待した。

（阿部拓郎）